

白 WHITE TOWER 塔

2013年9月28日(土)

13:30~16:45 (開場13:00)

場所：国立民族学博物館 講堂

定員：450名・参加無料・申込不要
(入場整理券を10:00から講堂入口にて配付します。)

主催：国立民族学博物館

中国インディペンデント・ドキュメンタリー映画『白塔』
第15回マルセイユ国際ドキュメンタリー映画祭「最優秀初監督作品賞」、
「シネマ・リサーチ・グループ特別賞」受賞作品

中国語(北京語河南方言)、中国手話
日本語字幕・英語字幕つき

2003年/中国/83分

監督・制作：蘇青(スー・チン)、米娜(ミー・ナー)

作品提供：特定非営利活動法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭



白塔 WHITE TOWER

第15回マルセイユ国際ドキュメンタリー映画祭「最優秀初監督作品賞」、
「シネマ・リサーチ・グループ特別賞」受賞作品

中国河南省のろう者コミュニティの日常を切り出した実話にもとづくドキュメンタリー映画。淡々と描き出される生活の流れに両監督のおもいがどう伝わるのか、ひとりひとりに尋ねてみたくなる作品です。



◎プログラム

13:30~15:00…『白塔』上映

15:00~15:20…休憩

15:20~16:45…監督を交えてのトーク
(インターネット配信あり)

映画 ……中国語・中国手話(日本語字幕・英語字幕つき)

トーク ……日本語・日本手話・中国語
(日本語・日本手話通訳、日英同時通訳、
中国語から日本語への逐次通訳つき)

前半は、ろう者コミュニティの日常を描いた映画『白塔』を上映します。映し出されるのは、中国でもっともろう者が多いといわれる河南省のろうの中年男性・景明。再婚を考える景明をとりまく手話でつむぎだされる人間関係、なんだか私たちの身近にあるような…あるいは、まったく異なる世界?実話にもとづくドキュメンタリー映画独特の雰囲気をお楽しみください。

後半は、蘇青(スー・チン)、米娜(ミー・ナー)両監督をお迎えし、制作の背景やその後の展開などについて伺いながら、私たち自身のコミュニティや世界観についても考えてみたいと思います。司会是小林昌之(中国障害者法など)、パネルは菅野奈津美(ろう者/デフアート)と中津真美(コーダ※/聴覚障害学)でおおくりします。多数のご来場をお待ちしております。

※コーダ=聞こえない親をもつ聞こえる子ども



◎ゲスト

右: 蘇青(スー・チン)

内蒙モンゴル生まれ。現在は自主映画作家として北京に在住。1995年から1998年まで北京の広告会社でアート・クリエイターと編集者を務める。1998年から2002年まで、北京のテレビ映画製作会社で監督業をし『The Melody of Striver』を制作。独立後に、本作と『Old Tang』『The Heirs of the Deaf』などを制作した。

左: 米娜(ミー・ナー)

重慶生まれ。北京の広告会社でファッション・デザイナー、コンサルタントとして働き、後にアート・クリエイターと顧客担当責任者を務める。本作を制作後、2004年に北京の中央美術学院でアート・マネジメントのMBAを取得。2004年中国国際画廊博覧会のドキュメンタリーを撮影した。



◎司会

小林昌之(アジア経済研究所 開発研究センター)

専門は中国法、障害者法。中国を中心にアジアの障害者法制を研究するとともに、現地のろう者や手話事情についても考察。最近の著書に、『アジアの障害者雇用法制』(編著、アジア経済研究所、2012年)などがある。



◎パネリスト

菅野奈津美(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)
ろう者。専門は芸術。ギャローデット大学留学中にデフアートを学び、ろう者としての芸術表現、また欧米におけるデフアートの歴史やろう者の芸術活動の動向の整理等に取り組む。



◎パネリスト

中津真美(東京大学 バリアフリー支援室)

ろう者の父と聴者の母をもつ。主にコーダの視点から「聴覚障害のある親と聞こえる子どもの親子関係」の心理社会的発達研究に取り組む。

◎中国語・日本語通訳: 秋山珠子(立教大学/字幕翻訳家)

◎総合司会: 菊澤律子(国立民族学博物館)

「みんなく手話言語学フェスタ 2013」もよろしく!

9月27日(金)~29日(日)の3日間、手話言語と音声言語に関する国際ワークショップやシンポジウムを開催します(手話通訳つき)。詳しくはみんなくホームページをご覧ください。

<http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/corp/20130927-29>

国立民族学博物館

交通のご案内 国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」下車、徒歩約15分
*映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。
「公園東口駅」下車、徒歩約15分
*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。
- バス……………[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
- タクシー……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れられます。
- 乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
広報企画室 企画連携係
Tel:06-6878-8210
(土日祝を除く9:00~17:00)
<http://www.minpaku.ac.jp/>
公式 Facebook :
<http://www.facebook.com/MINPAKU.official>

